

## 環境マネジメントの状況

### 【2019年度の環境目標と実績】

あじかんは、2004年度から毎年度ごとに環境保全活動の課題と目標を設定し活動を進めています。

以下は、2019年度の主な環境目標に対する活動の結果です。

目的	課題	目標	実績	評価
地球温暖化の防止	CO <sub>2</sub> 排出量削減（国内自社工場）： 2018年度実績に対して ：生産重量比	1%以上削減	4.7%減少 （前年比）	○
資源の有効利用	電気使用量の低減（国内自社工場）： ：生産重量比	626.0 kWh/ t 以下	604.2 kWh/ t	○
	ガス使用量（玉子焼の焼成用）の 低減（国内自社工場）：生産重量比	43.5/ t 以下	43.8/ t （前年比98.9%）	△
循環型社会の形成	生ごみの再生利用等の実施率の向上（全社）	61.3%以上	84.6%	○

### 【環境に関する規制基準の遵守状況】

あじかんに適用となる環境関連法規等には、大気汚染防止法、下水道法、水質汚濁防止法、廃棄物処理法、食品リサイクル法、省エネルギー法など30以上あります。あじかんは、関係する法令等を明確にした上で、定期的に遵守状況を確認しています。

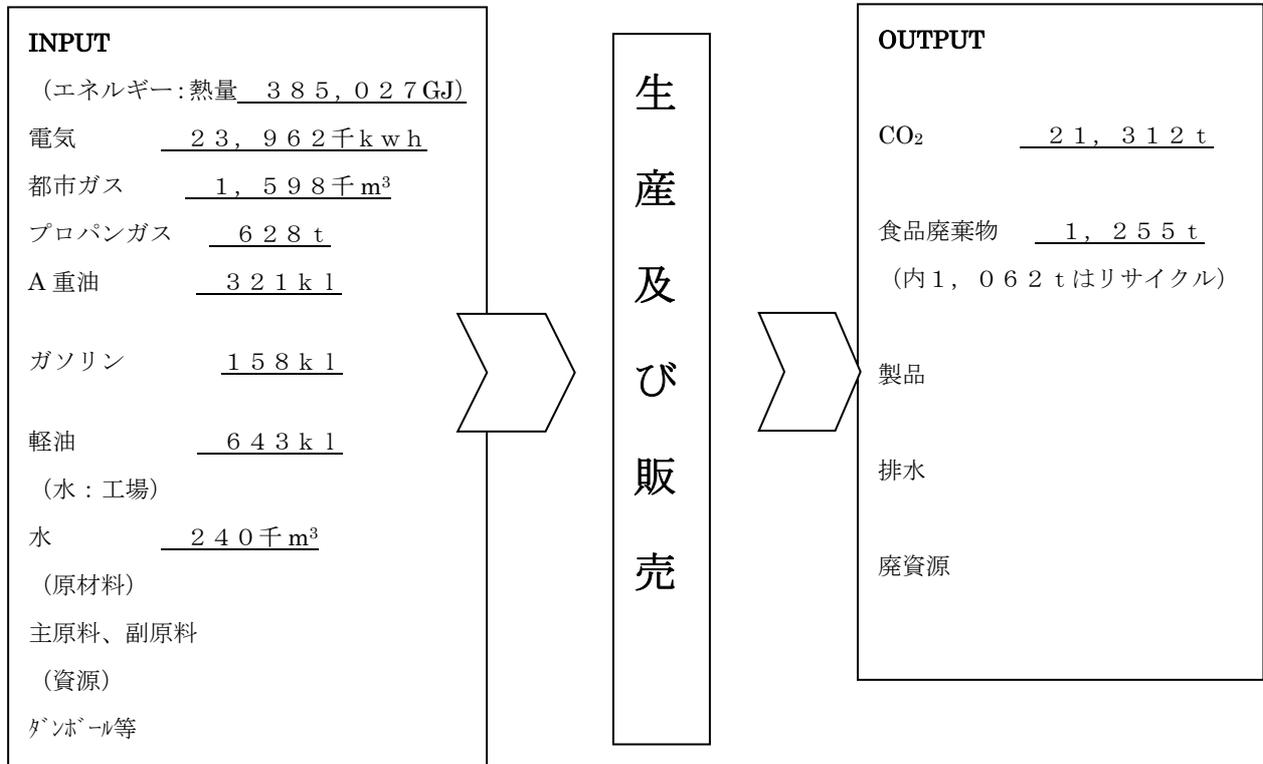
2019年度において、行政処分を伴うような法令違反、罰則に該当する事例はありませんでした。

## 環境負荷の状況 ①

対象範囲：株式会社あじかん

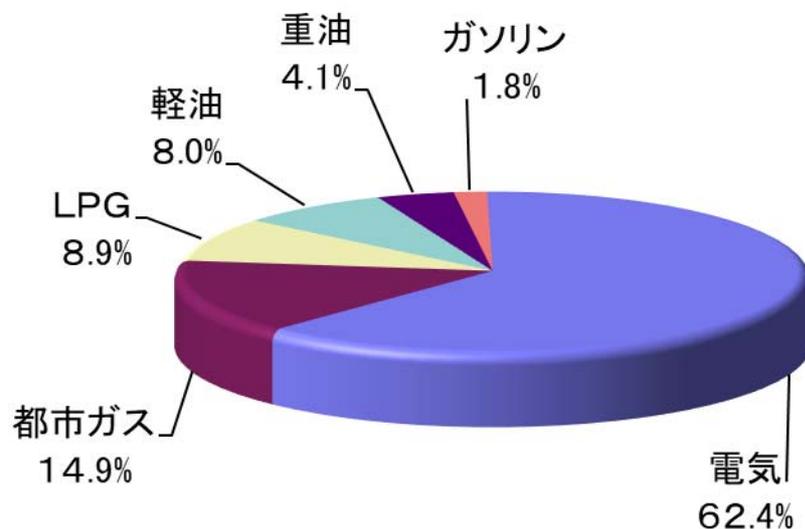
対象期間：2019年4月～2020年3月

### 事業活動のマテリアルバランス



### エネルギー別 CO<sub>2</sub>換算比率グラフ

2019年度の総エネルギー投入量を、エネルギー別にCO<sub>2</sub>換算すると下図のように、電気が約62%を占めています。

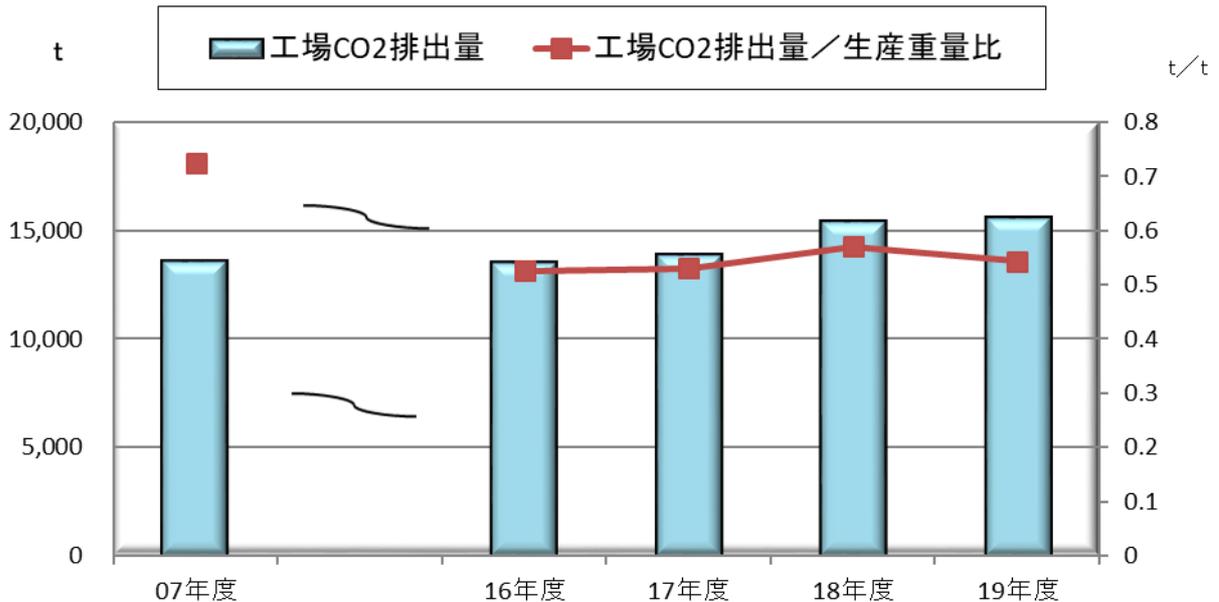


CO<sub>2</sub> 排出量の推移

2019年度の全社におけるCO<sub>2</sub>排出量は、以下の通りでした。

CO<sub>2</sub>排出量 21,312 t—CO<sub>2</sub>/年

生産本部工場のCO<sub>2</sub>の排出量（絶対量）は、2019年度は2018年度に対して0.9%増加しましたが、生産重量当りのCO<sub>2</sub>排出量は、2007年度に対して25.1%低減、2018年度に対して4.7%低減しました。（下図）



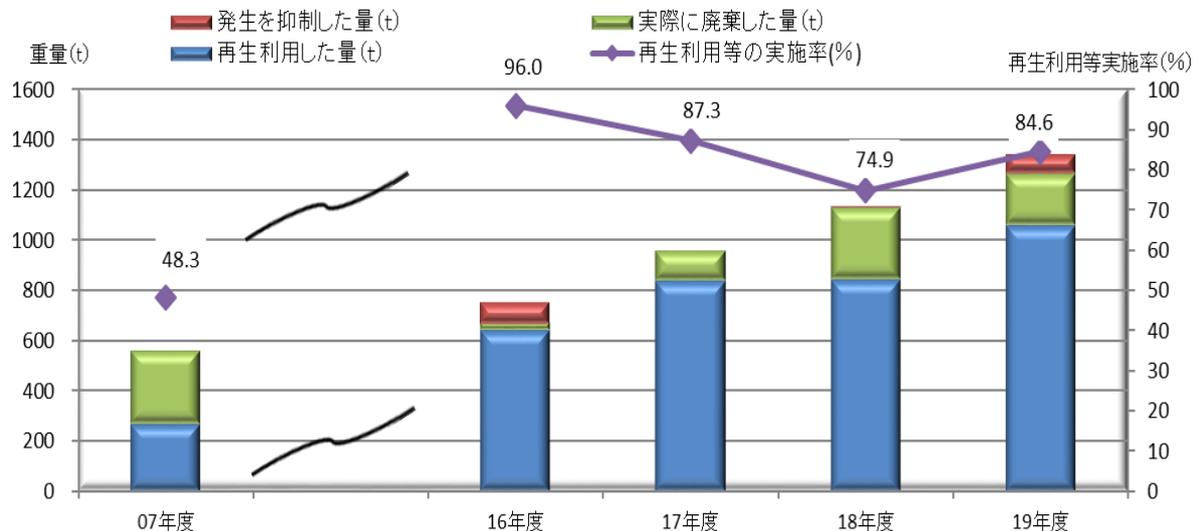
食品リサイクル法に基づく食品廃棄物の再生利用等の状況

2019年度の食品廃棄物の排出と再生利用等の状況は、以下の通りでした。

食品廃棄物の排出量 1,255 t、再生利用等実施率 84.6%

2007年度以降との比較において、継続的に改善が進んでいますが、2019年度は、つくば工場での再生利用実施途中の為、実施率が低下しました。（下図）

食品廃棄物等の量と再生利用等の実施率



## 環境負荷の状況 ③

### 【工場でのエネルギー投入量の状況】

工場での電気、燃料、水の使用量の07年度および15年度からの比較は下図の通りです。

#### 電気使用量の状況

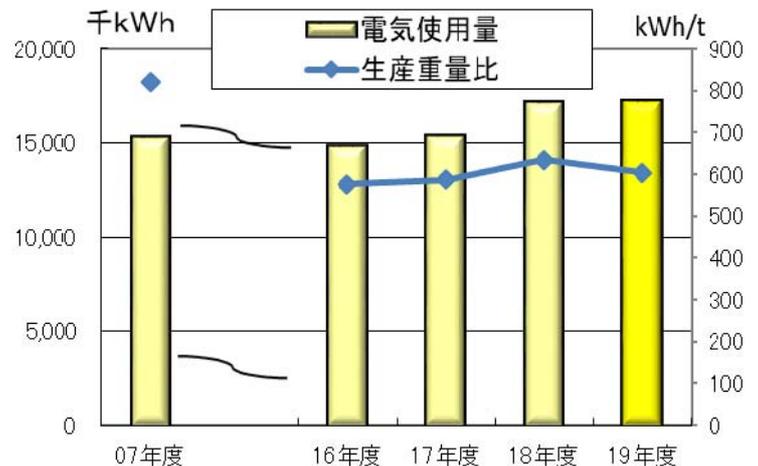
2019年度における電気使用量は、以下の通りでした。

電気使用量 17,273千kWh

生産重量比 604.0kWh/t

2018年度に対し、電気使用量は、生産量増加等に伴い0.6%増加し、生産重量比では4.9%低減しました。

2007年度に対し、電気使用量は、12.6%増加していますが、生産重量比では、26.2%低減しています。



#### 燃料使用量の状況

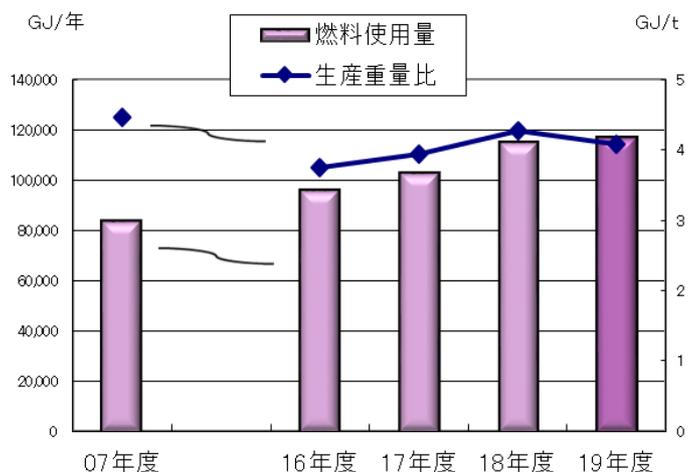
2019年度における燃料消費量は、以下の通りでした。

燃料消費量 116,766GJ

生産重量比 4.08GJ/t

2018年度に対し、燃料消費量は、生産量増加等に伴い1.2%増加し、生産重量比では、4.3%低減しました。

2007年度に対し、燃料消費量は、39.4%増加していますが、生産重量比では、8.7%低減しています。



#### 水資源投入量の状況

2019年度における水資源投入量は、以下の通りでした。

水資源使用量 240千m<sup>3</sup>

生産重量比 8.4m<sup>3</sup>/t

2018年度に対し、水資源投入量は、生産量増加等に伴い4.0%増加し、生産重量比では1.6%低減しました。

2007年度に対し、水資源投入量は、27.7%増加していますが、生産重量比では、16.4%低減しています。

